

2026年1月19日(月)

今年も作成！

日本一早い「共通テスト」問題解説をめざして

1月17日と18日、大学入学共通テストが行われました。前日には、山手線や京浜東北線などが停電で長時間ストップして大混雑しただけに心配でしたが、この両日は大きな混乱も試験も無事に行われホッとしました。本校では「受験は団体戦！皆で心をついに！」を合い言葉に、年内入試で合格を得た生徒も含め全員が共通テストを受験することが慣例になっています。

さて、本校では生徒だけでなく教員も毎年、大学入試に挑戦することを促しており、実技教科の先生方も含め、全員が何らかの形で試験問題に関わるようにしています。

私は、教員になって以来、毎年、大学入試センターの課す試験の翌日にはA4版10数ページからなる問題解説を校内に公表することを自らの宿題と課しており、今年も休日返上で作成しました。私の専門教科は「地理」であり、20年も高校教科書に携わってきた経験から大学入試問題の解説作成を趣味のように楽しんで来ました。学習指導要領が新しくなって以来、共通テストも「探究型学習」の手法を取り入れた形式の設問が増えており、単なる一問一答のような単純な設問にはなっておらず、「地理」のテストらしく、図表など複数の資料を用いて考察する問題が増えています。中には、出題意図を疑いたくなるような設問も間々ありますが、全体としては自然災害、ハザードマップや環境・資源再利用など現代的課題を踏まえた出題が取り入れられており、楽しみながら作成することができました。

